

（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業

青森県青森市／令和6年竣工

（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業は、事業用地を都市公園化し、青森市総合体育館を公園施設として整備する（DBO）とともにスポーツクラブやカフェを Park-PFI で導入したことにより、土地の有効活用が図られるとともに、公共施設の適正化が図られました。

屋内外での一体利用が可能となった施設計画で、日常的な利用から大会・イベント開催、プロバスケットボールの誘致等により、「スポーツをする・観る・支える」といった市民のスポーツや運動に対する意識の向上が図られたプロジェクトです。質の高い市民サービスの提供や事業機会の拡大などを目的に、Park-PFI を導入し公募対象公園施設を設置したことで相互利用による相乗効果が得られました。

体育館内に防災備蓄倉庫や非常用発電機等を設置し災害時に備え、当該施設を利用した近隣住民による避難訓練の実施など防災意識向上に寄与しています。供用開始以降、当該公園及び体育館には多くの来場者があり、スポーツをする・観る・支えることに寄与するとともに、防災機能を有した公園でもあり、防災訓練はもちろんのこと、地域の避難訓練の場としても活用されています。本市が本事業のコンセプトに掲げた「健康・交流・防災」のすべてに合致する事業となりました。

事業概要

所在地	青森県青森市大字浦町字橋本
土地面積	約 51,000 ㎡
事業主体	青森市
管理運営主体	青森市ひと創りサポート株式会社
主要施設	青い森セントラルパーク、青森市総合体育館、公募対象公園施設（スポーツクラブ、カフェ & ベーカリー）
事業スキーム	Park-PFI 事業・指定管理者制度

取組のポイント

- 青森市総合体育館を都市公園施設の核と考え、条例において建蔽率の上限を 24%と定めるとともに Park-PFI 等の契約期間を 15 年として、柔軟な運営を実現しています。また、施設屋内外の一体利用や公募対象公園施設との連携事業等を数多く実施しており、公園利用者の利便性向上に寄与。
- 青森市総合体育館や公募対象公園施設のスポーツジム（24 時間営業）には事業者が常駐しており、SPC 内で情報を共有し日常管理から突発的な対応にも幅広く対応可能。
- 効率的かつコスト縮減した維持管理・運営が可能となる施設となることを目的に、SPC 設立を事業要件とし、設計フェーズから維持管理事業者の意見を積極的に設計に反映できる体制を構築。

